

# みんきょう便り 第30号

みんきょう・・・三島町民生児童委員協議会の略です

## 歳末たすけあい運動へのご協力 ありがとうございました

令和2年12月1日から1ヶ月間は、歳末たすけあい運動の期間として、赤い羽根共同募金会による活動の一環として、各地区担当の民生児童委員が各家庭を訪問し、募金活動を実施しました。

歳末たすけあい運動は、明治後期頃から自発的な救貧を目的とする民間活動として広がり、当時の民生児童委員などが中心となり行われてきています。



報告者：渡部 規子  
【西方地区担当】

### 【募金活動・配分方法について】

三島町では、歳末たすけあい募金運動を、民生児童委員協議会が中心となって行っています。地区によっては行政区長さんのご協力をいただき、地区住民の皆さんのご理解のもと、地区運営費・区費と併せて募金をしていただいているところもあります。

皆様のご厚意・ご協力により集められた募金は、三島町民生児童委員協議会において、配分検討が行われ、町内の要援護世帯への見舞金贈呈事業や特別養護老人ホーム桐寿苑への行事助成事業、また、地域ふれあい配分事業へと配分されます。



↑三島町民協小松会長と二瓶副会長が社会福祉法人みしま「桐寿苑」を訪れ、行事助成金を贈呈いたしました。

### 【地域ふれあい配分事業とは】

この事業は、12月～2月までの間、特に高齢者や支援を必要とする方々が不安を持ちやすい冬の時期に実施する事業です。

高齢者や障がい者、子どもたちなど世代を超えた交流会や生活支援活動（除雪支援・友愛訪問・配食など）住民の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らせるような、地域ふれあい・支え合い活動に対して、その活動費の一部を歳末たすけあい募金から助成するものです。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策をしながらの活動ですが、各地区やボランティア団体などにおいて、心を込めた配食サービスや作品作り、クリスマス会、ゲーム大会などの催しに活用されています。

「つながり支え合うみんなの地域づくり」のスローガンの通り、地域の皆さんのための事業です。是非積極的に参加して地区の方とつながりを深め、楽しい時間を過ごしましょう。

毎年、歳末たすけあい募金運動にたくさんの温かいご協力をいただき心より感謝申し上げます。ありがとうございました。





# 民生児童委員会活動日誌

昨年来新型コロナウイルス感染対策の為、町内のイベントやいろいろな活動が自粛・中止となりました。また、今年は大雪に見舞われ、除雪作業が大変な毎日です。一斉訪問日に当たる2月14日(日)は、前日から快晴となり、春の陽気の中、訪問に出掛けました。

今回の訪問には、【災害に対するご家庭での備え】のチラシと、例年同様に「黒砂糖」を持参しました。「お変わりないですか?」「何か困っていることはないですか?」と声を掛け色々なお話をさせていただく中で、雪の始末に大変な様子でした。「雪の始末とコロナには十分気を付けてくださいね」「体調に気を付けてくださいね」とお伝えすると、「気に掛けてもらってありがとう」という言葉をいただけることは訪問してとても嬉しく、励みになり、私自身ありがたく元気をもらっています。



報告者：森田 喜美代  
【大登・川井地区担当】



これからも雪とコロナ感染が心配な時期が続きますが、体調に気を付け、何かありましたら、各地区の担当民生児童委員に何でもお話しください。皆さんに寄り添い、お役に立てることで成長していきたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願いいたします。

新型コロナウイルスの出現によって、社会は一変しました。「普通の生活」をしたい、戻りたい、そんな思いではないでしょうか。「普通」とは何でしょう。国語辞典で意味を調べると、ごくありふれた事、通常であること、一般的であること。このように表記されています。

歌手の方で「普通のおばさんになりたい」といつて引退された方もいらっしゃいました。非日常を生きる多忙な歌手生活の中で、引退するというそれほどもだに「普通であること」に価値を感じたのでしょうか。

新型コロナウイルスは、私たちが日頃はあまり感じない、ありふれたことの大切さ・尊さを、ふと立ち止まって考える機会にもなりました。

福祉や医療の現場では、感染予防の為に、人とのふれあいや、面会・交流の機会が制限され、入院や施設入所の方のみならず、地域にいても孤独感を感じる声が多数聞かれました。

人と人が向き合つてのケアを基本とする福祉の現場が普通の状況となる様に、感染の終息を願うばかりです。



三島町  
民生児童委員協議会  
会長 小松 豊

「普通(ふつう)」を思う



## ◆ 編集後記 「三寒四温」

例年のない寒波と雪が、桜の咲くころの陽気と一進一退の攻防戦を繰り返しています。いつ終息するか見当もつかないコロナ禍ですが、ワクチン接種も開始され、また、一年遅れの東京オリンピック開催に向けての話題も聞こえてきて、来年度へ明るい希望が見えてきたようです。油断せず、お隣近所声を掛け合って過ごしていきましょう。

広報委員：佐久間 絹江 【滝原・早戸地区担当】

発行：三島町民生児童委員協議会  
〈広報委員〉佐久間 絹江  
二瓶 とよ子  
湯田 恭子  
事務局／三島町社会福祉協議会